

第2回近畿周産期精神保健研究会パンフレット

- 日時 2017年2月25(土)－26日(日)
 - 25日(土) 14－17 ワールドカフェ (定員：60名、先着順)
 - 26日(日) 9－17 研究会 (定員：約300名)

- 場所 新大阪丸ビル別館 (JR新大阪東口徒歩5分)
 - 25日(土) ワールドカフェ 4階会議室
 - 26日(日) 研究会 10階会議室

- 会長 船戸 正久 (大阪発達総合療育センター副センター長)

- 参加費 (参加費) 5000円 (ワールドカフェ参加の場合、申込み必要)
(抄録集のみ) 500円

- テーマ：「多職種協働で支援する patient & family-centered care」
(患者・家族中心のケア)

・会長講演

(座長：窪田昭男、和歌山県立医科大学第2外科学長特命教授)

船戸正久 (大阪発達総合療育センター副センター長)

「多職種協働で支援する patient & family-centered care」

・特別講演

(座長：鍋谷まこと、淀川キリスト教病院ホスピス・小児ホスピス病院院長)

Margarita Bidegain, MD, MHS-CL (米国 Duke 大学医学部、小児科准教授)

「Perinatal multidisciplinary approach for palliative care」

(周産期における多職種協働による緩和ケアアプローチ)

・シンポジウム（１）（２）

（１）「多職種協働で胎児のいのちをどのように大切に支援するか」

Modulator :

- ・和田浩（大阪発達総合療育センター 医師）
- ・猿田 美雪（淀川キリスト教病院 NICU 看護師）

シンポジスト :

- ・宮田郁（大阪医科大学リエゾン精神看護師）
- ・高橋雄一郎（長良医療センター 産科医師）
- ・武井安津子（愛仁会高槻病院 新生児小児科医師）
- ・佐藤裕美（愛仁会高槻病院 NICU 看護師）
- ・出崎 躍（淀川キリスト教病院 臨床心理士）
- ・森喜宣・香奈（大阪医科大学家族）
- ・柴田兼作（淀川キリスト教病院家族）

（２）「多職種協働で支援する NICU からの地域生活移行」

Modulator :

- ・望月成隆（大阪府立母子保健総合医療センター 新生児科医師）
- ・近藤正子（大阪発達総合療育センター医療相談室 MSW）

シンポジスト :

- ・祝原賢幸（大阪府立母子保健総合医療センター新生児科医師）
- ・西野千絵（同センター母性外来看護師）
- ・山口真帆（同センターNICU 看護師）
- ・水田由子（同センター心理士）
- ・隅清彰（愛染橋病院小児科医師）
- ・下釜聡子（石井記念愛染園訪問看護ステーション看護師）
- ・松岡雅一（訪問看護ステーションリハステージ OT）
- ・久保田恵巳（くぼたこどもクリニック医師）

いのちの輝きを支える多職種カンファレンス とことん話し合おう！

テーマ：子どもと家族に寄り添う支援とは？

(周産期の子どもと家族への支援に向けた体験型多職種カンファレンス)

【ワールドカフェへのお誘い】

周産期には、子どもの生きる力にしたがって、正解の無い課題に向き合っていかなければならない場面があります。そのような時、子どもの親や家族だけではなく、子どもとその家族に関わる全ての職種が共に悩み考える時間と場所が必要です。しかし、第1回近畿周産期精神保健研究会のシンポジウムでは、多職種でケースカンファレンスをする際の難しさについてのご意見がありました。みなさんの施設はいかがでしょう？

【ねらい】

本プログラムでは、想定事例を素材にした模擬多職種カンファレンスを企画しました。ワールドカフェの手法を用いて、妊娠期から出産、新生児期、在宅移行期に分けて多職種が自由に意見や想いを語り合い、ファミリーセンタードケアの視点からケースについてじっくりと検討する機会を持ちたいと思います。また、今回の多職種カンファレンスを体験することで、各施設での多職種連携をさらに充実させる機会となることも期待しています。

*対象者：周産期の親子に関わる職種の方々
なら、どなたでも参加できます。

(医師、助産師、看護師、保健師、ケースワーカー、心理士、理学療法士、保育士、遺伝カウンセラー等)

*定員：60名



- ・原則翌日の研究会にも参加できる方が対象です。
- ・ワールドカフェ（模擬カンファレンス）への参加は、研究会への参加申込みと同時に、事前申し込みが必要です。
- ・プログラムの特性上、職種ごとに定員を設けます。応募多数の場合は抽選となります。

<ワールドカフェとは>

カフェで話し合いをしているようにリラックスした雰囲気の中で、皆が対等な立場で、お互いの意見を尊重しながら、テーマに集中した対話を行います。一定時間が過ぎればメンバーの組み合わせを変え、新たなグループで話し合いを続けます。

(ワールド・カフェ・ネット

<http://world-cafe.net/index.html> より)

Fax : 06-6699-8134 : 第 2 回周産期精神保健研究会事務局

【申込み用紙】(本研究会 HP ホームページからもダウンロードできます。)

下記に○をつけて下記の事務局までお送り下さい。

その後下記の口座への振込を前もってお願いします。

・研究会及びワールドカフェへの参加を希望します (5,000 円)。

() 25 日 (土)・26 日 (日) 両日参加希望

・研究会への参加を申し込みます (5,000 円)

() 2 月 26 日 (日) のみの参加

所属 :

職種 :

氏名 :

下記の事務局へメールまたはファックスで申込み用紙を送っていただくのと同時に、下記の口座に参加費を前もってお支払い下さい。

【申込み・お問合せ先】第 2 回周産期精神保健研究会事務局

大阪発達総合療育センター総務課 (医局) 寺裏庸加 宛

住所 : 546-0035 大阪市東住吉区山坂 5 丁目 11-21

Fax : 06-6699-8134、Tel : 06-6699-8731、e-mail : teraura@osaka-drc.jp

【支払口座】

<郵便局から振込む場合> 記号・番号 : 14000-49704241

<銀行等の金融機関から振込む場合> ゆうちょ銀行、支店名 : 四〇八 (ヨンゼロハチ)、
普通預金 (口座番号) : 4970424、口座名義 : 第 2 回近畿周産期精神保健研究会
